

商品のご紹介

赤ちゃんの歯がまだ生えていなくても、ガーゼやトレーニング乳歯ブラシなどでお口に触れることに慣らしておきましょう。

歯みがき習慣トレーニング乳歯ブラシ

歯が生える前からお口に入れる習慣づけ

赤ちゃんは生後3ヶ月くらいから歯ぐきがムズムズしてきます。そんな時期からトレーニング用の乳歯ブラシなどを使ってみましょう。



"ハブラシを握る"・"お口に入れる"
"歯をみがく練習"になります。

「歯みがきしょうずだね、
きれいになったね」など
声をかけながらお口をみてあげましょう。



赤ちゃんのための歯ふきシート

歯が生える前から歯やハグキの汚れが気になる時に
お口の中のよごれが気になる時に歯やハグキをふいて
清潔に保つことがお口の健康づくりにつながります。

おっぱいやミルクを美味しく飲んだ後は
「おいしかったね、きれいにしようね」と
声をかけながらやさしく
お口を拭いてあげましょう。



出産期 Birth

出産～母乳ミルクの時期

赤ちゃんの歯が生える前のお口のケア



未来の赤ちゃんのために

サンスターと
はじめる
赤ちゃんからの
正しいお口ケア



—0才からのオーラルケア

出産期 Birth —出産～母乳ミルクの時期— この時期のトレーニングが赤ちゃんの丈夫な歯を育てます！

赤ちゃんのお口中

赤ちゃんのお口中でも成長しています

赤ちゃんにとっての大切な栄養源はママのおっぱいやミルク。この時期、固形の食べ物は口にしません、お口中は食べ物を食べるための準備が始まっています。



★ 反射でママのおっぱいに吸いつく

生まれてまもない赤ちゃんがおっぱいや哺乳ビンに吸いつく行為は吸啜といい、赤ちゃんに生まれつき備わった原始反射です。よく見ると唇や顎の動きはあまりみられません。お口中では活発に舌が動き、おっぱいやミルクを一生懸命飲んでます。この吸啜反射は成長と共に弱まっていき、生後約6ヶ月で消失します。

★ スプーンで食べることが可能に

吸啜反射が消失すると、舌の活発な動きもおさまりスプーンで食べることが可能になります。初めての乳歯である下の前歯（乳切歯）が顔を出し始めるのもこの頃です。上下の前歯である乳切歯が生え揃う生後8・9ヶ月頃になると唇と舌と別々に動かせるようになり、舌で食べ物を押しつぶせるようになっていきます。

お口の発達には、おっぱいやミルクをしっかり吸うことがとても大切です。また、赤ちゃんは舐める・噛むという行為を通して、さまざまな物をお口で確かめていきます。お口を動かすことは、食べることをはじめ、体や脳の発達にも重要な役割を担っているのです。



眠る前の授乳

眠る前の授乳はどうして注意が必要なの？

赤ちゃん和妈妈にとって、添い寝をしながらの授乳はとてもおどやかな気持ちになれる大切な時間。でも眠る前の授乳は注意が必要といわれているから心配…というママも多いでしょう。

では、どうして注意が必要なのでしょう？



眠る前の授乳、注意が必要な理由は“お口中の細菌”です

おっぱいやミルクにはムシ歯の原因になる糖が多く含まれています。寝ている間は唾液の分泌量が減るため、どうしてもおっぱいやミルクがお口中に残りがち。もし赤ちゃんのお口中に細菌がいたら繁殖するのに最高の環境を与えてしまうことに！



★ まだ乳歯が顔を出していなければ大丈夫

乳歯が生えはじめたら、赤ちゃんのお口にムシ歯菌を感染させないように、定着させないように十分に気をつけましょう。それでも心配な場合は、眠った後にお口中を拭いてあげましょう。赤ちゃんを起こさないように、あくまでやさしくそっと…を心がけて。

